

平成30年度 全国がん登録説明会④

届出項目について

公益財団法人 宮城県対がん協会 がん登録室

1

届出マニュアルについて

- 最新版は
[全国がん登録届出マニュアル2016 2017改訂版](#)
- 最新版はインターネットからの[ダウンロード版のみ](#)。
各施設で入手をお願いいたします。
- 届出の対象、作成方法、時期、届出項目は、
このマニュアルに記載されています。

2

届出マニュアルの構成

- 第1章:届出の対象と方法
- [第2章:届出項目について](#) ☞主にこちらの説明
- 第3章:死亡者新規がん情報に関する通知
に基づく届出
- 付録

3

届出項目について (届出マニュアル 第2章)

- 届出票 マニュアル 13ページ
- 届出項目の一覧 マニュアル 16～17ページ
- 次に、項目番号1から順番に説明 マニュアル 22～49ページ

4

患者基本情報

項目番号	項目名
1	病院等の名称
2	診療録番号
3	カナ氏名
4	氏名
5	性別
6	生年月日
7	診断時住所

※基本情報は、同一人物の複数のデータを一つにまとめる際に、重要な項目です。入力ミスの無いようご注意ください。

5

腫瘍情報

項目番号	項目名
8	側性
9	原発部位
10	病理診断
11	診断施設
12	治療施設
13	診断根拠
14	診断日
15	発見経緯
16	進展度・治療前
17	進展度・術後病理学的

体のどこに
どんな種類のがんが
できたのか

そのがんは、
いつ、どんな経緯で
見つかったか
どの施設で
どんな検査で
診断されたのか

そのがんの
進み具合は
どの程度か

6

初回の治療情報、その他

項目番号	項目名
18	外科的治療の有無
19	鏡視下治療の有無
20	内視鏡的治療の有無
21	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲 (観血的治療)
22	放射線療法の有無
23	化学療法の有無
24	内分泌療法の有無
25	その他の治療の有無
26	死亡日
番号なし	備考

そのがんに対して、
自施設でどんな
治療をしたのか
手術した結果、病巣は
取りきれたのか

自施設での死亡日

同一人物の照合に
役立つ情報

7

患者基本情報

- ① 病院等の名称 [マニュアル 22ページ](#)
 - 電子届出票の届出申出書に記載する。提出不要。
- ② 診療録番号 [マニュアル 23ページ](#)
 - 患者を識別するための、1患者1件の不変コード
 - 患者ID番号
- ③ カナ氏名 [マニュアル 24ページ](#)
 - 氏名に対応する読みのカタカナ表記

8

④ 氏名

マニュアル 25ページ

- 住民票に記載されている氏名
- 日本語文字以外の氏名はアルファベット・カタカナ可
- ミドルネームは氏名欄には含めず、備考欄へ
- 通称が判明している場合も、備考欄へ
例) 通称:〇〇〇〇
- 氏名に外字が含まれる場合は、可能な限り Shift_JISの範囲の異体字に置き換えを！
- 置き換えが難しい場合は●に置き換える。
また、置き換えた場合には、備考欄へ正式な漢字の参考情報の入力を。
例) 辻:正しくは「一点しんじょう」

9

④ 氏名のつづき

マニュアル 25ページ

- 入力システム上、外字を含んだ氏名が表示されずカタカナ表示になっている施設でも、可能な限り Shift_JISの範囲の異体字に置き換えを！
例) ×カミスギ レイコ
→ [氏名]の入力: 上杉 禮子
[備考]の入力: 禮のしめすへんは「示」ではなく「ネ」
- 届出時の姓が診断時とは異なる場合も備考欄へ
例) 新姓:高橋

10

⑤ 性別

マニュアル 26ページ

- 住民票に記載されている性別 1.男性 2.女性

⑥ 生年月日

マニュアル 27ページ

- 診療録等に記載されている生年月日
- 西暦、和暦どちらでも可。
- 和暦は元号の入力間違いに注意

⑦ 診断時住所

マニュアル 28ページ

- 当該がんの診断時の住所
- ⑪診断施設が「2.他施設診断」の場合は、当該腫瘍初診時の住所

例) 平成27年に他施設で胃癌と診断された仙台市青葉区の患者さんが、平成29年に石巻市へ転居し、自施設に受診。これを届け出る場合
⇒ 診断時住所は石巻市で届け出る

11

⑦ 診断時住所のつづき

- 届出時の最新住所が診断時住所とは異なる場合、最新住所の情報を備考欄へ
例) 最新住所:仙台市青葉区上杉……

※ 基本情報のまとめ

基本情報は、同一人物の複数のデータを一つにまとめる際に、重要な項目です。
入力ミスの無いようご注意ください。

当室でデータを処理する際に、他施設と情報が異なる場合などは、確認のために当室よりお問い合わせをします。

12

腫瘍情報

⑧ 側性 マニュアル 29ページ

- 側性のある臓器・ない臓器のとりきめに従いコードを選択。
- 詳細は、マニュアルまたは本日の配布資料

全国がん登録 届出情報作成時の注意事項について
資料2【臓器の側性コードについて】

を参照

⑨ 原発部位 マニュアル 30ページ

- 原発の部位をできるだけ詳しくお願いします。
- 付録[3]の一覧も参照

資料2

【臓器の側性コードについて】

1) 側性のある場合の側性コード

コード	側性の詳細
1	右側
2	左側
3	両側（両側の両方に発生し、両側同時に発生した別組織形態の卵巣腫瘍、両側同時に発生した腎芽腫（ウィルムス腫瘍）、両側同時に発生した網膜芽細胞腫）
9	不明（側性のある臓器で発生が不明な場合、両側が正常に位置する場合）

2) 側性のない場合の側性コード

コード	側性の詳細
7	側性のある臓器一覧に該当しない場合

1.右側 2.左側
9.不明
を選択できるのは
この臓器のみ

3.両側 を
選択できるのは
この3つの場合のみ

- 両側卵巣に発生した同じ組織形態の卵巣腫瘍
- 両側腎臓に発生した腎芽腫（ウィルムス腫瘍）
- 両側網膜に発生した網膜芽細胞腫

上記の臓器以外は
7.側性なし

⑨ 原発部位 マニュアル 30ページ

診断名（カルテ記載例）	⑨ 原発部位（例）	備考
食道癌	胸部食道	できるだけ詳しい原発部位をカルテからひろう
大腸癌	盲腸	
転移性肺癌 （大腸癌からの肺転移）	横行結腸	転移部位ではなく、原発部位を登録する
転移性肺癌 （原発部位不明）	原発不明	
悪性リンパ腫	胃体部	リンパ節以外（節外性）では原発の臓器
悪性リンパ腫	頸部リンパ節	リンパ節（節性）では原発のリンパ節
慢性骨髄性白血病	骨髄	ICD-O-3では、白血病の原発部位はすべて「骨髄」
骨肉腫	大腿骨	診断名に原発部位が含まれない場合は、カルテから詳しい原発部位をひろう
悪性中皮腫	胸膜	

⑩ 病理診断 マニュアル 31ページ

- 病理診断・形態コード、病理診断・組織型テキストの2種類からなる。
- 病理診断・形態コードとは、ICD-O-3という国際的なルールに基づき、扁平上皮癌や腺癌などの癌組織を6桁の数字で表現したもの。



例 **814039** → **腺癌**

組織/細胞型 性状 異型度/分化度/
免疫表現型

4桁の数字で
特定された組織型

0 良性
1 良性・悪性の別不詳
2 上皮内癌
3 悪性（浸潤癌）

1 異型度 I、高分化
2 異型度 II、中分化
3 異型度 III、低分化
4 異型度 IV、未分化、退形成
5 T細胞
6 B細胞
7 ナル細胞
8 NK細胞
9 異型度、分化度、細胞型が
未定、未記載、もしくは適応外

※電子届出票やHos-CanR Lite（入力ソフト）を利用した場合、「病理診断」を選択すると、コードが自動的に入力されます

⑩ 病理診断 のつづき

マニュアル 31ページ

- 細胞診、生検、手術の摘出標本の病理診断の結果を記載
 - － 病理学的診断結果の情報の詳しさを優先して記載。
手術の摘出標本 > 生検(Biopsy) > 細胞診(Cytology)
 - － 手術前に手術以外の治療が行われたときは、その影響を受けるので、治療前の結果を記載
- ⑩病理診断を選択する際は、⑬診断根拠にも注意
 - － 診断根拠が顕微鏡学的(病理学的)診断でないときに用いてよい形態コードも参照(マニュアル32ページ)
- 他施設で実施した病理診断の結果も含みます。(ただし、他施設へ紹介後の情報は入れないでください。)

17

記載例1

- 情報源: 診療録の退院時サマリー
 - 病名 大腸癌(S状結腸)
 - 手術 S状結腸切除術(H29.4.1当院施行)
 - 病理診断 adenocarcinoma, tub1, ~
- 届出情報
 - ⑧側性 7.側性なし
 - ⑨原発部位 S状結腸(C18.7)
 - ⑩病理診断 管状腺癌(8211/3)
 - ※詳細に選択できるソフトを使用の施設は、
 - ・病理診断テキスト: adenocarcinoma, tub1
 - ・分化度コード: 1.高分化

18

記載例2

- 情報源: 診療録の退院時サマリー
 - 病名 右乳癌(C領域)
 - 経過 他施設で右乳房部分切除術施行(H27.5.10)
自施設へ術後の経過観察目的に入院
 - 病理診断 他施設からの紹介状等に情報なく不明

届出情報

- ⑧側性 1.右
- ⑨原発部位 乳房(C領域)(C50.4)
- ⑩病理診断 悪性腫瘍(8000/3)

病名が〇〇がん(癌)で病理診断の情報がない場合は、「悪性腫瘍」を選択。

※詳細に選択できるソフトを使用の施設は、
・分化度コード: 9.異型度・分化度/細胞型が未決定、未記載又は適用外

19

診断情報

- ⑪診断施設、⑬診断根拠、⑭診断日は、最も確からしい検査(=診断根拠となった検査)をいつ、どこで行ったかがわかれば記入可能

20

⑬ 診断根拠

マニュアル 35ページ

- “がん”と診断する根拠となった最も確からしい根拠(検査)をその検査とするか、については、**もっとも数字の小さい検査**を選択する。
- 他施設で実施した検査の結果も含みます。(ただし、他施設へ紹介後の情報は入れないでください。)
- 他施設で診断されたが、根拠についての情報が無い場合は「9.不明」を選択する。
- ただし、⑩原発部位・局在コードが「**C42.0 血液**」又は「**C42.1 骨髄**」は、診断根拠についての情報が不明な場合でも、**診断根拠は「3.細胞診」とする。**(国立がん研究センターへ確認済のルール)

21

⑬ 診断根拠

マニュアル 35ページ

区分	備考	
1 原発巣の組織診陽性	病理組織診によるがんの診断	顕微鏡学的(病理学的)診断
2 転移巣の組織診陽性	病理組織診によるがんの診断	
3 細胞診陽性	病理組織診ではがんの診断が無く、細胞診によるがんの診断	
4 部位特異的腫瘍マーカー	<ul style="list-style-type: none"> ・肝細胞癌でのAFP高値 ・絨毛癌でのHCG高値 ・神経芽細胞腫でのVMA高値 ・ワルデンストレームマクログロブリン血症での免疫グロブリン高値 	顕微鏡学的(病理学的)診断ではない ↓ 選択できる ⑩病理診断に制限あり!!
5 臨床検査	上記以外の腫瘍マーカー、画像診断(CT、MRI、エコー、X線、PET)、内視鏡・手術の所見等	
6 臨床診断	1~5以外の検査(視診や触診での診断)	届出マニュアル32ページの一覧表を参照
9 不明	他施設で診断され情報が無い場合等	

22

届出マニュアル 32ページ

32 第2章：届出項目について

腫瘍情報

診断根拠が顕微鏡的(病理学的)診断でない時に用いてよい形態コード

形態コード	組織診断名	形態コード	組織診断名
8000	新生物・腫瘍、NOS※	9350	頭蓋咽頭腫
8150	膵内分泌腫瘍	9380	グリオーマ
8151	インスリノーマ	9384/1	上皮下巨細胞性アストロサイトーマ
8152	膵グルカゴン腫瘍	9500	神経芽腫(神経芽細胞腫)
8153	ガストリノーマ	9510	網膜芽腫(網膜芽細胞腫)
8154	膵内分泌・外分泌細胞混合腫瘍	9530	髄膜腫、NOS
8160/3	胆管細胞癌※※	9531	髄膜炎性髄膜腫
8170	肝細胞癌	9532	線維性髄膜腫
8270	嫌色素性腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9533	砂粒腫性髄膜腫
8271	プロラクチノーマ(下垂体腫瘍)	9534	血管腫性髄膜腫
8272	下垂体腺腫/癌、NOS	9535	血管芽腫性髄膜腫
8280	好酸性腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9537	移行型髄膜腫
8281	好酸性・好塩基性混合腺腫/癌(下垂体腫瘍)	9538	明細胞髄膜腫/乳頭状髄膜腫
8720	黒色腫(痣又は皮膚に原発の場合)	9539	異型髄膜腫
8800	肉腫、NOS	9590	リンパ腫 ※
8960	腎芽腫	9732	多発性骨髄腫
9100	絨毛癌	9761	ワルデンストレームマクログロブリン血症
9140	カボジ肉腫	9800	白血病、NOS

※ NOS Not Otherwise Specified 他に何らの説明や記載のないもの、詳細不明
 ※※ 日本独自ルール

表にある形態コード・組織診断名は診断根拠が、
4.部位特異的腫瘍マーカー
5.臨床検査
6.臨床診断
9.不明
 の場合でも選択できる。

表にない形態コード・組織診断名は診断根拠が、
1.原発巣の組織診
2.転移巣の組織診
3.細胞診
 の場合にしか選択できない。

※届出マニュアル2017年改訂版で追加
 (国立がん研究センター がん情報サイトよりダウンロード可能)

23

⑪ 診断施設

マニュアル 33ページ

当該がんの**初回治療前に**、「がん」と診断された(陽性であった)検査を、他施設での検査も含めて時系列に並べたときに、**最も確からしい検査**(最も確からしい検査が複数回行われている場合、より早い日に行われた検査)が

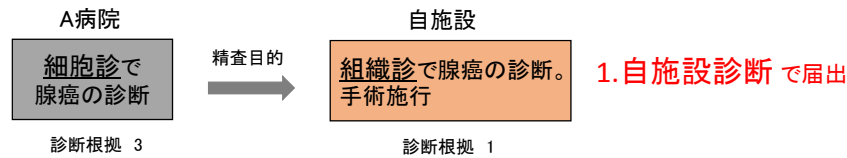
- 自施設に受診後に実施された場合 **1.自施設診断**
- 自施設に受診前に実施された場合 **2.他施設診断**

※注意:自施設から他施設へ紹介後の情報は含めない

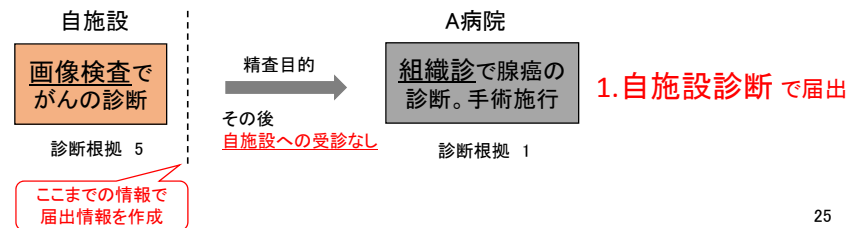
24

診断施設 —よくある例—

〈例1〉



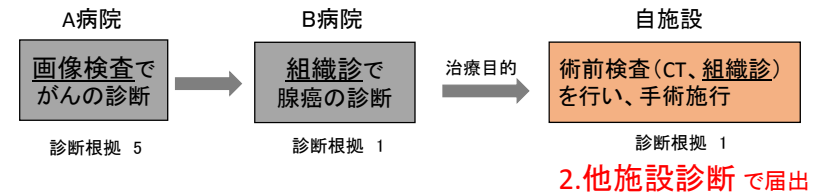
〈例2〉



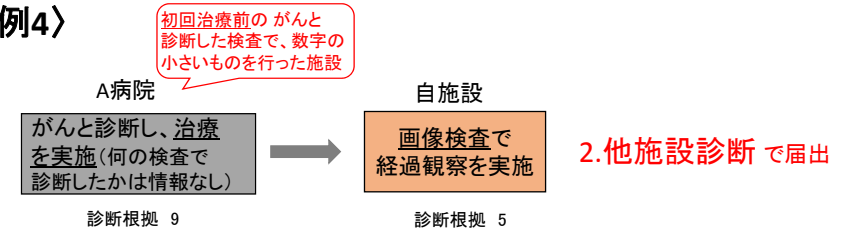
25

診断施設 —よくある例—

〈例3〉



〈例4〉



26

⑭ 診断日

マニュアル 36ページ

⑪ 診断施設が

1. 自施設診断のときは 自施設診断日
2. 他施設診断のときは 当該腫瘍初診日

—自施設診断日とは

- 項目「診断施設」が「1 自施設診断」のとき、自施設に受診後に実施され、「がん」と診断された検査のうち、最も確からしい検査の検査日。
- 生前に存在が疑われていなかったがんが死体解剖によりはじめて診断された場合は、死亡日を自施設診断日とする。

—当該腫瘍初診日とは

- 項目「診断施設」が「2 他施設診断」のとき、当該がんの診断や治療のために、初めて患者が自施設を受診した日。

27

⑫ 治療施設

マニュアル 34ページ

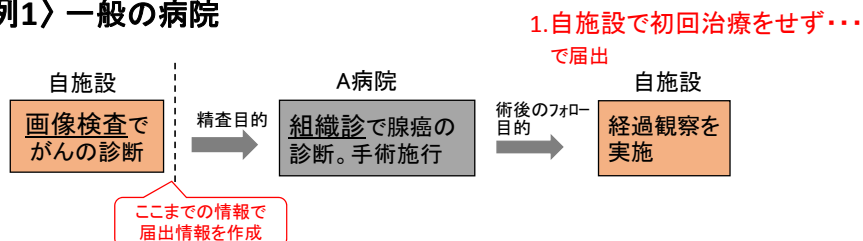
当該がんの初回治療を、どの施設で開始、実施したかを判断するための項目

1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介又はその後の経過不明
2. 自施設で初回治療を開始
※ 経過観察の初回実行(造血管腫瘍の場合は、初回寛解までに行われた経過観察全て)も含む
3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続
4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設を受診
8. その他 ※ 8.その他は安易に選択しない
通常の診療では、1~4のいずれかを選択する

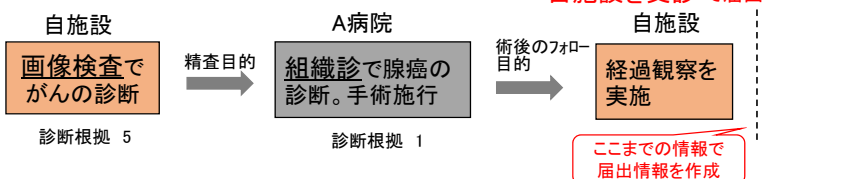
28

治療施設 —よくある例—

〈例1〉一般の病院



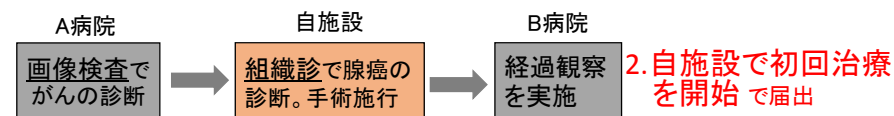
〈例2〉国立がん研究センターの 全国集計に参加している施設



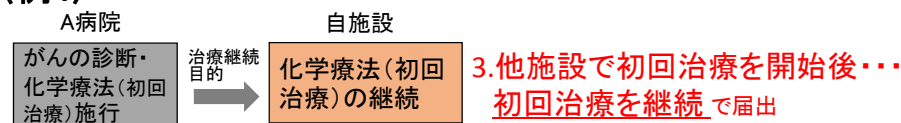
29

治療施設 —よくある例—

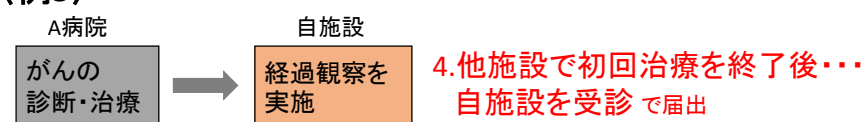
〈例3〉



〈例4〉



〈例5〉



30

⑮ 発見経緯

マニュアル 37ページ

当該がんが診断される発端となった状況を把握するための項目

1. がん検診・健康診断・人間ドック
3. 他疾患の経過観察中の偶然発見
4. 剖検発見
8. その他 ※自覚症状による受診を含む
9. 不明

31

進展度について(基本)

マニュアル 19ページ

- がんが原発巣からどこまで拡がっているかを分類する最も基本的ながんの病期の分類方法
5つの主な区分からなります。
 - － 上皮内
 - － 限局
 - － 所属リンパ節転移
 - － 隣接臓器浸潤
 - － 遠隔転移

32

⑩、⑪ 進展度

マニュアル
21、38、39ページ

区分	⑩進展度・治療前	⑪進展度・術後病理学的
400 上皮内	届出項目の概説「進展度について」参照	
410 限局		
420 所属リンパ節転移		
430 隣接臓器浸潤		
440 遠隔転移		
660 手術なし又は術前治療後	区分なし	<ul style="list-style-type: none"> ・当該がんの手術が自施設で行われなかった場合、適用 ・進展度・治療前の診断後、手術の前に、初回の治療が開始された場合、適用
777 該当せず	白血病、多発性骨髄腫(局在コードがC42.0又はC42.1)の場合、適用 ※これ以外の局在の場合は使用不可！	
499 不明	<ul style="list-style-type: none"> ・情報がない場合 ・⑫治療施設が4*の場合 ・原発巣が不明(局在コードがC80.9)の場合 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該がんの手術を自施設で行った結果が、400～660に当てはまらない場合 ・手術を施行し、原発巣が不明(局在コードがC80.9)の場合

* 治療施設4: 他施設で初回治療終了後に自施設を受診

33

進展度について(例外)

マニュアル 20ページ

- ・進展度区分の定義適用の例外

悪性リンパ腫とカポジ肉腫

- 限局
- 隣接臓器浸潤
- 遠隔転移

※上皮内、所属リンパ節転移はありません

34

初回治療について

マニュアル 18ページ

- ・当該がんに関する**最初の診断**に引き続き行われた当該がんの**縮小・切除を意図した治療のうち、診療計画等に記載されたもの**
- ・経過観察が計画された場合、又は治療前に死亡された場合は経過観察という行為を初回治療に含む
- ・この範囲が不明確な場合、病状が進行・再発したりするまで施行されるか、あるいはおおよそ4か月以内に施行されたもの

35

造血器腫瘍以外(白血病、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫など以外)の悪性腫瘍の初回治療

マニュアル 18ページ

1. 診療録にがん治療計画が記載→その完了まで
2. 診療録に記載がないが、施設における標準的ながん治療計画が存在する場合→その完了まで
3. 1, 2以外の場合→別な治療を開始した時点までに行われた治療
4. 患者がすべての治療を拒否/経過観察→治療なし/経過観察が初回治療

36

造血器腫瘍（白血病、多発性骨髄腫、悪性リンパ腫など）の初回治療

マニュアル 18ページ

1. 初回寛解導入までに用いられたすべての治療、および初回治療を維持するために用いられたすべての治療
2. 初回寛解後の再燃に対して患者に行われた治療は初回治療とはしない
3. 初回寛解までに行われた経過観察について初回治療の範囲とする

37

初回治療の各項目

マニュアル
40～47ページ

- ⑱外科的治療の有無
- ⑲鏡視下治療の有無
- ⑳内視鏡的治療の有無
- ㉑外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲（観血的治療の範囲）
- ㉒放射線療法の有無
- ㉓化学療法の有無
- ㉔内分泌療法の有無
- ㉕その他治療の有無

㉑を除き、回答欄は、すべて共通
1. 自施設で施行
2. 自施設で施行なし
9. 施行の有無不明

注意

・初回治療の定義に注意...当該がんに関する最初の診断に引き続き行われた当該がんの縮小・切除を意図した治療のうち、診療計画等に記載されたもの
・症状の緩和を目的に行われた治療は含まない。

例) 大腸がんのイレウスに対し人工肛門造設

㉑観血的治療の範囲は

1. 原発巣切除
4. 姑息的な観血的治療
6. 観血的治療なし
9. 不明

38

㉖ 死亡日

マニュアル 48ページ

- 自施設で死亡診断したときのみ記入
- 他施設死亡例は空欄で可

備考（項目番号なし）

マニュアル 49ページ

- 他施設からも届出があったときに同じ人物かどうかの確認に必要な情報（ミドルネーム、通称、置き換えた文字の情報、生物学的な性別が異なる場合の性別、別な住所）

例) 氏名:「菅」は、くさかんむりの間が離れている

39

備考のつづき

マニュアル 48ページ

- 紹介元や紹介先の病院等の名前
例) 紹介元: ○○病院、紹介先: ○○病院
- 既往のがんに関すること
例) H20年 ○○病院にて胃癌手術
例) 胃癌手術 (H20年○○病院) など
- 当該がんの詳細な病理診断に関すること
例) 病理診断: adenocarcinoma, tub1, ...

40

記載例3

情報源:退院時サマリー

- 病名 胃癌(胃体部)
- 紹介元 ABCクリニック(H29.3.1 内視鏡、生検で胃癌の診断(group5))
- 初診日 H29.3.11
- 画像検査 H29.3.12 腹部CT:転移は認めない
- 内視鏡 H29.3.19(生検group5)
- 手術 胃部分切除術(H29.4.1 当院施行)
- 病理診断 adenocarcinoma, tub1, リンパ節 0/32, 粘膜下層に浸潤(sm),断端陰性。

記載例3 届出票

④性別	<input type="checkbox"/> 1.右 <input type="checkbox"/> 2.左 <input type="checkbox"/> 3.両側 <input checked="" type="checkbox"/> 7.側性なし <input type="checkbox"/> 9.不明
④原発部位	胃、小腸
④病理診断	胃体部 管状腺癌
①診断施設	<input type="checkbox"/> 1.自施設診断 <input checked="" type="checkbox"/> 2.他施設診断
②治療施設	<input type="checkbox"/> 1.自施設で初回治療をせず、他施設で紹介またはその後の経過不明 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input type="checkbox"/> 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8.その他
③診断情報	<input checked="" type="checkbox"/> 1.原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2.転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3.細胞診 <input type="checkbox"/> 4.部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5.臨床検査 <input type="checkbox"/> 6.臨床診断 <input type="checkbox"/> 9.不明
③診断日	<input type="checkbox"/> 0.西暦 <input checked="" type="checkbox"/> 4.平成 <input type="checkbox"/> 29年 <input type="checkbox"/> 3月 <input type="checkbox"/> 11日
③発見経緯	<input type="checkbox"/> 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 3.他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4.創傷発見 <input type="checkbox"/> 8.その他 <input checked="" type="checkbox"/> 9.不明
⑤進行度・治療前	<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input checked="" type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明
⑤進行度・術後病理学的	<input type="checkbox"/> 400.上皮内 <input checked="" type="checkbox"/> 410.限局 <input type="checkbox"/> 420.所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430.隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440.遠隔転移 <input type="checkbox"/> 660.手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777.該当せず <input type="checkbox"/> 499.不明
⑥外科的	<input checked="" type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
⑥鏡視下	<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
⑥内視鏡的	<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
⑥観血的治療の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 1.原発巣切除 <input type="checkbox"/> 4.姑息的な観血的治療 <input type="checkbox"/> 6.観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9.不明
⑥放射線療法	<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
⑥化学療法	<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
⑥内分泌療法	<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
⑥その他治療	<input type="checkbox"/> 1.自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2.自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9.施行の有無不明
⑥死亡日	<input type="checkbox"/> 0.西暦 <input type="checkbox"/> 4.平成 <input type="checkbox"/> 年 <input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 日
備考	紹介元:ABCクリニック 病理診断:adenocarcinoma, tub1

届出項目の記入のための早見表

本日配布しておりますので、届出情報作成時にご活用ください。

届出項目の記入のための早見表		
項目名	内容・区分	平成29年12月(胃癌)がん登録がん登録票
1. 病院等の名称	フキスト入カ	※23ページ
2. 診療科番号	フキスト入カ(中央局10文字以内)	※23ページ
3. カラ番号	フキスト入カ(シメイイそれぞれ中央局10文字以内)	※24ページ
4. 病名	フキスト入カ(中央局10文字以内)	※25ページ ・アルファベット、カタカナ可 ・元、全の綴 ・下線は全角カタカナで ・通称が併記している場合は、通称に赤字で書き換えた場合や書き換えない場合は赤字で赤字を ・片名平綴は全角ハイフン(ー)のみ ※26ページ ・生物学的分類が異なる場合は赤字に
5. 性別	1.男性 2.女性	※27ページ
6. 生年月日	0.西暦 1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成 5.令和 日付	※27ページ 不明の場合は9999年99月99日
7. 診断時住所	フキスト入カ(中央局40文字以内)	※28ページ ・居住地の診断時の住所 ・居住地の最寄り住所と異なる場合は赤字に ・住所不明、不詳、不定は「住所不明」で
8. 側性	1.右 2.左 3.両側 7.側性なし 9.不明	※29ページ ・「両側」を併記する場合は、「両側併発、両側併発腫瘍、両側併発腫瘍の集合体、(右左)併発」を併記する ・側性不明、定かでない場合は「不明」に ・側性がある腫瘍については※29ページ
9. 原発部位	ブドウランメニューの選択から選択(※30~31ページ、行参照)	※30ページ、行参照 ・腫瘍は必ずがんの原発部位を(詳しく)、おかないときは、行参照を参照 ・腫瘍の発生部位と治療部位を ・悪性リンパ腫、白血病、骨髄腫、骨髄系造血細胞性腫瘍、悪性黒色腫などは病名に追加が求められるので必ず原発部位を(注)血液の原発部位はすべて「骨髄」に。 ・腫瘍のある他の腫瘍がある場合は、最も近いものを優先し、正確な病名を優先的に記載 ・その他、指定する腫瘍があれば優先的に ・病名が不明な場合は「不明」に ・病名が不明な場合は「不明」に ・病名が不明な場合は「不明」に
10. 病理診断	ブドウランメニューの選択から選択(組織型・性状)を選択	※31ページ、行参照 ・細胞診、生検、病理学的検査の結果を基に診断、腫瘍の発生部位を併記するときは、診断、病理学的検査の結果を併記する ・細胞診の結果は併記しない ・この欄は優先的に記載する

届出情報作成時の注意事項

- 電子届出票入力時、Hos-CanR Lite入力時、オンライン届出のチェック機能では、**届出内容が矛盾していてもチェックがかからない**
- 内容が矛盾したままの届出情報は、当室での登録処理ができない仕様 → 当室より各施設へ問い合わせ・修正
- **届出前に、各届出項目の定義や、本日配布の資料全国がん登録 届出情報作成時の注意事項についてをご参照のうえ届出情報の確認をお願いいたします!**

次に、パターン化できる入力の組み合わせを3つ説明

⑨原発部位「C42.0 血液」、「C42.1 骨髄」の場合

⑨側性	<input type="checkbox"/> 1. 右 <input type="checkbox"/> 2. 左 <input type="checkbox"/> 3. 両側 <input checked="" type="checkbox"/> 7. 側性なし <input type="checkbox"/> 9. 不明	
⑨原発部位	大分類: 白血病、骨髄、血液 詳細分類: 白血病、骨髄(マクログロブリン血症を除く) C42.1	
⑨病理診断	組織型・性状	
⑩診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input type="checkbox"/> 2. 他施設診断	
⑩治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他	
⑩診断根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5. 臨床検査 <input type="checkbox"/> 6. 臨床診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明	
⑩診断日	<input type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 4. 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	
⑩発見経緯	<input type="checkbox"/> 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4. 剖検発見 <input type="checkbox"/> 8. その他 <input type="checkbox"/> 9. 不明	
⑩進展度・治療前	<input type="checkbox"/> 400. 上皮内 <input type="checkbox"/> 410. 限局 <input type="checkbox"/> 420. 所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤 <input checked="" type="checkbox"/> 440. 遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777. 該当せず <input type="checkbox"/> 499. 不明	
⑩進展度・術後病理学的	<input type="checkbox"/> 400. 上皮内 <input type="checkbox"/> 410. 限局 <input type="checkbox"/> 420. 所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤 <input checked="" type="checkbox"/> 440. 遠隔転移 <input type="checkbox"/> 660. 手術なし・術前治療後 <input checked="" type="checkbox"/> 777. 該当せず <input type="checkbox"/> 499. 不明	
⑩初回治療	⑩外科的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
	⑩鏡視下	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
	⑩内視鏡的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
	⑩観血的治療の範囲	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣切除 <input type="checkbox"/> 4. 姑息的な観血的治療 <input checked="" type="checkbox"/> 6. 観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9. 不明
	⑩放射線療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
⑩化学療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
⑩内分泌療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
⑩その他治療	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	

原発部位・局在コードが「C42.0 血液」又は「C42.1 骨髄」は、診断根拠についての情報が不明な場合でも、診断根拠は「3.細胞診」とする。(国立がん研究センターへ確認済のルール)

⑫治療施設「1」または「4」の場合 ※「C42.0 血液」、「C42.1 骨髄」を除く

⑩診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input type="checkbox"/> 2. 他施設診断	
⑩治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他	
⑩診断根拠	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5. 臨床検査 <input type="checkbox"/> 6. 臨床診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明	
⑩診断日	<input type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 4. 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	
⑩発見経緯	<input type="checkbox"/> 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4. 剖検発見 <input type="checkbox"/> 8. その他 <input type="checkbox"/> 9. 不明	
⑩進展度・治療前	<input type="checkbox"/> 400. 上皮内 <input type="checkbox"/> 410. 限局 <input type="checkbox"/> 420. 所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440. 遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777. 該当せず <input type="checkbox"/> 499. 不明	
⑩進展度・術後病理学的	<input type="checkbox"/> 400. 上皮内 <input type="checkbox"/> 410. 限局 <input type="checkbox"/> 420. 所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤 <input checked="" type="checkbox"/> 440. 遠隔転移 <input type="checkbox"/> 660. 手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777. 該当せず <input type="checkbox"/> 499. 不明	
⑩初回治療	⑩外科的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
	⑩鏡視下	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
	⑩内視鏡的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
	⑩観血的治療の範囲	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣切除 <input type="checkbox"/> 4. 姑息的な観血的治療 <input checked="" type="checkbox"/> 6. 観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9. 不明
	⑩放射線療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
⑩化学療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
⑩内分泌療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
⑩その他治療	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	

⑪診断施設「2」、⑫治療施設「4」の場合 ※「C42.0 血液」、「C42.1 骨髄」を除く

⑩診断施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 他施設診断	
⑩治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他	
⑩診断根拠	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5. 臨床検査 <input type="checkbox"/> 6. 臨床診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明	
⑩診断日	<input type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 4. 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	
⑩発見経緯	<input type="checkbox"/> 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4. 剖検発見 <input type="checkbox"/> 8. その他 <input type="checkbox"/> 9. 不明	
⑩進展度・治療前	<input type="checkbox"/> 400. 上皮内 <input type="checkbox"/> 410. 限局 <input type="checkbox"/> 420. 所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440. 遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777. 該当せず <input checked="" type="checkbox"/> 499. 不明	
⑩進展度・術後病理学的	<input type="checkbox"/> 400. 上皮内 <input type="checkbox"/> 410. 限局 <input type="checkbox"/> 420. 所属リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤 <input checked="" type="checkbox"/> 440. 遠隔転移 <input type="checkbox"/> 660. 手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777. 該当せず <input type="checkbox"/> 499. 不明	
⑩初回治療	⑩外科的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
	⑩鏡視下	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
	⑩内視鏡的	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
	⑩観血的治療の範囲	<input type="checkbox"/> 1. 原発巣切除 <input type="checkbox"/> 4. 姑息的な観血的治療 <input checked="" type="checkbox"/> 6. 観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9. 不明
	⑩放射線療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明
⑩化学療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
⑩内分泌療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	
⑩その他治療	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明	

この組み合わせの場合、進展度・治療前は「499.不明」とする。前医からの紹介状等により、進展度に関する情報が判明していても登録できません。(国立がん研究センターへ確認済のルール)

国立がん研究センター がん情報サービス

http://ganjoho.jp/reg_stat/can_reg/national/hospital/qa/index.html

国立がん研究センター がん情報サービス ganjoho.jp がん登録・統計

がん登録 統計 がん対策

HOME > がん登録 > 全国がん登録 > 病院・診療所向け情報 > 全国がん登録に関するQ&A

→ 全国がん登録

全国がん登録に関するQ&A

更新日: 2018年02月02日 [更新履歴]

よくあるご質問と回答をまとめたものです。

- 届出病院などについて
- 届出対象患者および腫瘍について
- 届出方法について
- 院内がん登録からの届出などについて
- 届出内容について
- 遡り調査について
- 患者さんへの対応について
- 問い合わせ・その他について

・質問の追加
・表現の一部修正
・回答の変更

回答の変更点

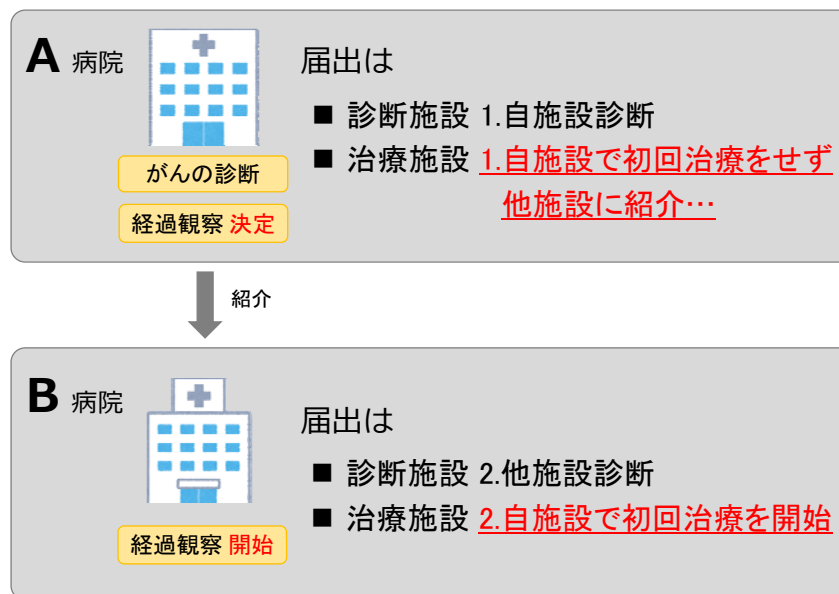
届出内容について Q6 (2017/10/27更新)

Q6 経過観察(緩和ケアを含む)は、決定した時点で初回治療は終了したとみなすので、決定施設＝初回治療施設となり、紹介先が治療施設となることはない？

回答 経過観察の方針決定だけでは治療施設とはならない。
経過観察を治療として開始した施設が治療施設になる。

49

つまり、Q6の回答は…



50

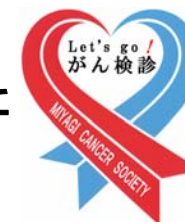
ちなみに、
A施設で経過観察を実施後、B病院で経過観察継続の場合



51

届出内容でご不明な点は
当室までお気軽にお問合せください

ご清聴ありがとうございました



52